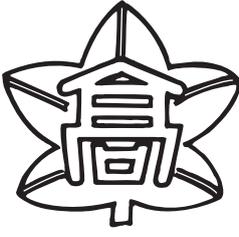


耐久高等学校同窓会報

耐久





「世界津波の日」2018
高校生サミット

10月29日・30日



NO. 43

ごあいさつ

同窓会長 大西義弘(高16期)



さまざまの

こと思ひ出す

桜かな 芭蕉

早春の候 同窓会員の皆様には、お健やかに過ごしのことと存じます。

今年も亥年です。「亥」は無病息災の象徴とされ、目標に向かって猛進していく人を助ける「火の神の化身」とされています。

本年は、健康で過ごし、新しいことを取り入れ、何事にも挑戦する年にしたいものです。

さて、昨年五月の関東耐久会総会で、大野博司会長が退任され、林紀男氏が就任されました。

十一月には、和歌山耐久会の田辺善彦会長が退任され、西博義氏が就任されました。

退任されました大野会長、田辺会長には長年献身的に御尽力され、その御労苦に対し深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

就任されました林紀男会長西博義会長には、母校並びに本部同窓会に対し、今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願い致します。

二〇二〇年には、濱口梧陵生誕二〇〇年を迎えます。前回の同窓会報より、記念特集を企画しています。現在、同窓会(本部・有田)では、学校と連携しながら、梧陵生誕二〇〇年あたり記念事業等の企画を進めているところです。

昨年末に、笹井校長から今、学校では「耐久リバース」の学校改革を新たに改革する第二ステージに取り組んでいるとお話がありました。同窓会役員一同、出来る限りの応援と協力をする所存です。

今年も、「本部及び有田耐久会総会」の年です。この機会に是非、お誘い合わせて有田へお越しください。

本年も、会員相互の親睦や旧交を温め、さらに「関東・関西・和歌山・有田耐久会」との交流をより深めて、楽しく・魅力ある同窓会となるよう努めて参りますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます、ご挨拶と致します。

第4回「志学ゼミ」感想

1年1組 田伏 悠牙

大規模災害が発生して避難所生活を余儀なくされた場合、元気な人でも活動量の減少により身体機能が低下する、まして高齢者や障害者ならなおさら問題が深刻になる。そこで理学療法士がその現場などに行き、体操指導や環境整備の助言等を行う。

このようなたくさんの方のために役に立てることはすごくやりがいを感じる職業であり、また患者さんからの「ありがとう」という感謝の気持ちにすぐには伝わりません。自分の将来の夢は理学

療法士なので、今日聴かせていただいたお話を活かしていきたいと思いました。そして大学に行き国家試験合格を目指してこれからも頑張っていきたいと思えます。

1年3組 中屋 美咲

コミュニケーションをとること、何かに興味をもつこと、勉強だけをするのが良いことじゃないことなど、これからの自分の将来に生かせるようなことを実践を交えながらお話ししてくださったので参考になりました。自分にできることを生かして、「人にはできないようなことを積極的に行動していくことも大切。できないことは誰にだってある」とおっしゃっていたので、私は自分にしかできないことで人を助けたり、自分にできないことは周りの人に助けってもらったりしながら、互いに支え合っていたらと思います。

1年5組 石井 里沙

色々な人達と接した人間は視野を広げることができ、たくさんの方と関わることで、それが人生を磨く力になる。時に失敗したとしても、終わればそれが「経験」として自分にとってプラスになる。日々謙虚さをもち、上には上がいることを忘れない。この人のために頑張りたいと思われるような人に、誰からも信頼されるような人になろう。

そんな話を伺って、今悩んでいることなんてちっぽけなことだと思いました。書き表せないぐらいの熱い気持ちで話をしてくださり、自分も人を感動させられる、人の心を動かすことのできるような人になりたいと感じました。自分を見つめ直す、良い機会となりました。

●志学ゼミ 講師先生方の紹介 (開催日：10月16日)

| | 氏名 | 所属等 |
|----|-------|-----------------------------|
| 1 | 青山 歆生 | 国立和歌山工業高等専門学校 教授 |
| 2 | 奥 雄一 | 湯浅広川消防組合 消防士 |
| 3 | 加瀬田健太 | HOME 代表 |
| 4 | 酒井 雄亮 | 琴の浦リハビリテーションセンター 理学療法士 |
| 5 | 塩谷 稔行 | JXTGエネルギー株式会社 和歌山製油所製油3グループ |
| 6 | 田中 誠二 | 株式会社エデュケーションリンクス 代表取締役 |
| 7 | 田中 康浩 | 株式会社みずほ銀行芝支店 芝第一部課長代理 |
| 8 | 谷井 康人 | 谷井農園 代表取締役 |
| 9 | 西 博義 | 稲むらの火の館名誉館長・元国会議員 |
| 10 | 平井 正展 | 広川町教育委員会 班長 |
| 11 | 古川 勤 | 近鉄百貨店和歌山店 営業促進部販売推進課係長 |
| 12 | 松林 洋以 | 湯浅町役場 総務広報課地域防災係 |

【50音順・敬称略】

同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)

「世界津波の日」2018 高校生サミットin和歌山スタディ



広村堤防「感恩碑」前にて

今年で3回目となる「世界津波の日」高校生サミットがついに「稲むらの火」発祥の地、和歌山県で開催されました。耐久高校では10月29日、30日の2日間、サミットの事前学習として津波防災に関する「スタディツアー」を行いました。2年前にも本校で開催しましたが、今回はその規模を上回る世界48カ国約250名の高校生（若き津波防災大使）が本校を訪れました。

午前中は、全校生徒による体育館での歓迎式、各HR教室で「クラス交流」、各クラブ（空手道部、剣道部、茶華道部、書道部、美術部）

生徒による「文化交流」を行いました。午後は、フィールドワークとして「広村堤防」や「稲むらの火の館」を訪れ、世界津波の日制定の意義や濱口梧陵の功績などについて学びました。さらに、湯浅町の重伝建地区で当時の生活様式や醤油醸造の歴史等についても学びました。耐久高校生たちは、海外からの高校生と交流を深めながら改めて郷土や自校への認識を深めました。

今回のフィールドワークには本校176名のボランティア生徒が各ポイントでの説明やエスコート役を務めました。参加した生徒たちは、英語でのコミュニケーションに苦戦しながらも、自分たちなりに工夫しながら海外の高校生たちと交流を図っていました。本番までの準備は大変でしたが、努力した自分自身の言葉が伝わった時の充実感や達成感は大きかったです。生徒たちからは、「楽しくて参加してよかった」「もっと英語が話せるようになりたい」などといった声が聞かれました。日常では味わえない、かけがえのない経験ができた2日間でした。

10月29日・30日の2日間、耐久高校において海外の高校生を迎え「若き津波防災大使スタディツアー」が実施され、初日の全校生徒による歓迎セレモニーの様子を、同窓会役員が参観させていただきました。体育館では吹奏楽部が演奏する「花は咲く」のメロディが流れ、世界各国・地域からの高校生たちが全校生徒に拍手で迎えられて笑顔で入場すると、セレモニーは耐久高校生の司会によりオールイングリッシュですタート。はじめに生徒会長の歓迎スピーチがあり、次に動画に

若き津波防災大使スタディツアー in耐久に参加して



よる耐久高校の紹介、そして津波防災に関する本校生徒代表の基調報告が行われました。続いて海外高校生代表のスピーチ、後半は民族ダンスが披露され、耐久の生徒も飛び入りで加わって会場内は国際交流にあふれた和やかな雰囲気になりました。

この日までの事前学習の積み重ねやこの2日間の経験を通して、耐久高校生の国際感覚や国際理解がさらに広がっていくであろうと実感したひとときでした。

副会長 神田公子（高25期）

| | | | | |
|-----------------------|--|--|---|--|
| 支 部 連 絡 先 | 和歌山耐久会 | 関西耐久会 | 関東耐久会 | 有田耐久会 |
| | 会長 西 博 義 〒640-8321 和歌山市岩橋 1690-47 Tel 073-475-2677 | 会長 地 引 民 子 幹事長 宮 崎 裕 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 3-8-1 Tel 072-753-1219 | 会長 林 紀 男 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィス ココ 桜パンケット Tel 03-3359-9520 | 会長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148 |

特集

濱口梧陵生誕二〇〇年記念特集 ⅡそのⅡ

「私の遭遇した世界の濱口梧陵」



藪添 泰弘 (高校15期)

に感慨無量で鳥肌たつ思いでございます。この瞬間は今なお熱い思いと共に蘇ってまいります。

この度、機会を頂きましたので、この「耐久創立150周年」前後に、濱口先生に関わり私が経験致しました事の中いくつかについて、それぞれ簡単に紹介させて頂きます。

「梧陵先生の崇高な志を受け継ぐ」

「学校長から生徒へのメッセージ」
 「八幡宮境内には、勝海舟が濱口梧陵を讃えた碑が建立されています。私は折に触れ、他の先生方とともにこの記念碑を訪れています。碑文を読む度に、梧陵先生がいかにスケールの大きな人物であり、高邁な人格の持ち主であったかが偲ばれます。また勝海舟との親交の深さが如何ほどであったのかも感じるものです。

君たちも一度機会をみて是非ここを訪ねてほしいと思います。創立者らしいを致すことにより、本校の連綿たる歴史と伝統を改めて想起し、故郷に対

する誇りと深い愛着の念を感じるとともに、梧陵先生の崇高な志を共に受け継いでいこうではありませんか」

「濱口氏は東大医学部創立の恩人」

「校長室に届いた一枚のハガキ」
 2002年のある日、事務室から一枚のハガキが私に届けられました。宛名には和歌山県広川町県立耐久高校校長机下と書かれており、葉書の内容は次のようでありました。

「今秋、校庭に『浜口梧陵』碑が建立されるようですが、浜口氏は東大医学部の創立の恩人です。医学部は安政年間『お玉ヶ池種痘所』から発展してきたのですが、この種痘所が建設の翌年に火事で全焼したとき、浜口氏が700両を与えて、これと泉橋に新しい種痘所を再建できました」

文面の最後には、国立がんセンター杉村隆名誉総長について書かれていたもので、後日、杉村先生とこの葉書の内容についてお電話でいろいろお話させて頂いたとき、また全校集会の場で生徒にこの話を紹介した次第です。

「Hamaguchi: A Hero of Japan」

「英国ベルウッド小学校の教材に」
 2001年の秋、京都市で近畿地区校長協会連絡協議会が開催されました際、会議終了後一人の校長先生（京都市立洛水高校村田伯義校長先生）が私の所にきて、「先ほど耐久高校とおっしゃってましたが、耐久と言えば濱口さんですね」とこのように声をかけて下さいました。そして、以前、教育視察で訪問したイギリスの小学校では濱口梧陵さんの事を教材として扱って

ましたよ、との事でしたので、その教材・資料等をお送り下さるよう厚かましくお願い致しました。

後日お届け下さった教材等のコピーによりますと、学校は英国ケンントン州メドーストン市のベルウッド小学校で、10歳児位の学年の指導に採用されているとの事でした。この教材に描かれている話は、私などから見ましても史実とは若干違っているように思えました。これは本校用に少し改編してもらい、1年生全クラスで教材として扱って貰ったものです。

当時は、戦後最大級の災害をもたらした阪神淡路大震災から数年が経過した時期でしたが、被害の傷跡はまだ十分癒えないのに記憶の風化はもう始まりました。だからこそ、我々の先祖、私たちの学校の創立者にも、人々を災害から守り、被災者のために走り回り、将来の災害の対策まで講じた人がいたことを是非覚えておいてほしい。そして、そのような人（濱口梧陵先生）をこそ「ヒーロー」と呼び、「生ける神」と名づけた人々の目の高さにも学ぶところは実に多いと改めて感じた次第でした。

「日本・世界の将来に明るい展望を」

「モンデール元米副大統領からのメッセージ」
 2002年9月、元米副大統領、駐日米大使 Walter F. Mondale 氏が



梧陵翁銅像除幕式

私が耐久高校在職中に「耐久創立150周年」という記念すべき年に遭遇しました事は生涯忘れ得ぬ思い出です。私は学校長着任以来、是非とも濱口先生の像をと、当時の橋本同窓会長様に相談、お願い申し上げておりましたので、2002年11月2日、150周年記念式典前に行われました濱口梧陵先生ブロンズ像除幕の瞬間は、まさ

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

ら耐久創立150周年祝福メッセージが届けられた事は本校にとつて大変な喜びであり名誉な事でした。

メッセージには、「耐久創立者濱口氏は、学生が変化する社会に備える事が出来るように自学自習と強い倫理を継続的に推進する学校を設立された」と述べ、「濱口氏のような個人が1800年代後半に日本の変革に大きな影響を与えたように、今の耐久生が日本や世界の将来に明るい展望を与え存在になつてくれるように願う」と書かれていました。

「広川町に見た防災の原点」

山本哲朗教授（山口大学）の

取り組み

「耐久創立150周年」記念式典が近づいた頃、山口大学の山本哲朗教授から電話があり、記念式典に出席させて頂けないかとの事でした。教授の主な研究分野は地盤工学だという事、また以前お読みになった『嵐の中の灯台 親子三代で読める感動の物語』に出てくる濱口五兵衛こそが濱口梧陵であり、津波から村人を救ったことに感動を覚えた事など、お話を聞きしながら、私は、遠方からですが是非ご出席下さるよう申し上げました。

当日は濱口先生ブロンズ像除幕式及び記念式典に出席下さいましたし、翌日には広川町で開催された津波祭にも参加され大防波堤等も見学されました。後日、先生は4万2千名の会員数を有する土木学会誌に論文発表された他、新聞記事で濱口梧陵先生を再三にわたり地元で紹介して頂いたり、地域での防災に関する講演や高等学校で

の出席講座ではよく濱口梧陵先生を取り上げて下さっている事を私は知りました。

山本哲朗教授は、上記両行事に参加される中から、「この濱口梧陵の機敏な行動こそ、地域における真の意味での防災であるということができると言い、特に海岸沿いに発生する大地震の時に起きる津波という自然災害から村人を救った梧陵の才覚、機敏さ、英断には感動を覚えるとともに心から拍手を送りたい。自然災害に巻き込まれないようにする活動を進めたい自分にとり、この梧陵の俊敏な行動には時代を超えて教えられることがあまりに多い」と話されていました。

「シアトル消防署前のモニュメント」

数年前のある日、和歌山市に私を訪ねてくれた耐久高校の卒業生と会っていた時のことですが、その年の夏に私がシアトルに行く予定があることを話すと、彼は「先生がシアトルに滞在中、僕もそちらへ行く」驚いている私に、更に彼は「先生に見せてあげたいものがありますから」との話でした。私は彼が高校卒業後アメリカの大学で学び、仕事をしていた事を知っていましたので、「もしシアトルに来る用でもあるのなら、向こうで会いたいね」という事になりました。

実際、その夏、私がシアトルのアメリカ人家庭に滞在中、彼が自分の車で私を迎えに来てくれ、しばらく話した後、車を走らせある消防署に連れていってくれたのです。着いてみると、そこには既に何人か待っていていました。彼から紹介された方は、Ellen

Zieglerさん（芸術家）、Brian Atwater氏（地質学者でワシントン大学教授）、消防署署長、それと地元新聞記者でした。

このビーコンヒルにある消防署（Fire Station 13）前の庭に、エレン・ジューグラーさん制作の7個のモニュメント（石碑）があり、それぞれに「稲むらの火」の話（Tidal Wave Story）が英語で刻まれています。これらの作品を見せて頂いた後、近くのコーヒー店でエレン・ジューグラーさんを囲み、皆で2時間ほど、この作品制作の経緯などお聞きしたのですが、「どうして消防署に稲むらの火の話だったのですか」と私がお聞きしますと、「消防は火事の際、水の力で火を消しますが、濱口梧陵は火を使って、水（津波）から人々を救いましたね」と笑いながら答えてくれました。そして私に「あなたはどうして私の作品に興味をもってくれたのですか」とお聞きになりましたから、「このモニュメントにあるお話の主人



エレン・ジューグラー女史（右から二人目）と



シアトル消防署前のモニュメントの一つ

公は、私が卒業した学校の元をお創りになった方ですから」と答えました。遠いアメリカの地に、梧陵先生に関わるモニュメントがあることに驚きと感動を覚えるとともに、私をここに連れてきて下さったかつての生徒（国内外の梧陵研究者等と親交がある白岩昌和氏）に感謝の念で一杯でした。

最後に、耐久生が、今や世界の濱口となつた梧陵先生の崇高な精神、志を受け継ぐとともに、校歌にも「やがても文化華咲きて たちばな実をや結びなば」世をはた人を導かん」と歌われているように、志を高く持ち、立派な社会人として成長し活躍して下さい事を心から念じつつ拙文を閉じさせていただきます。

プロフィール

- ・ 有田市宮原町出身（現・和歌山市在住）
- ・ 耐久高等学校（第15期・昭和38年卒業）
- ・ 京都外国語大学卒業
- ・ 和歌山県高校教諭を経て県教育委員会
- ・ 耐久高等学校長（平成12年～17年）
- ・ 現・和歌山外国語専門学校学园长

関東耐久会会長就任のご挨拶

林 紀 男 (高13期)

昨年5月の関東耐久会第16回総会におきまして、大野博司前会長の後をお受けして会長に就任いたしました。

関東耐久会は、母校の開設150周年を機に創設されて以降、諸先輩の絶大なご尽力に支えられて今日に至っております。

ただいまの会員数は235名で、約半数の方が活発に行事等にご参加になっていきます。

青春の多感な時期を、濱口梧陵翁の卓抜した建学精神のもとに過ごした同窓生が、年に一度の総会や秋の行事に相集って語り合うことは、やはり大変楽しい心安らぐことだと思えます。そうした意味でも、この会を永續させていかなければと思う次第です。

また会の今後の在り方としても、誰もが気楽に参加できて、楽しい時間を過ごせたと喜んでいただけるような、そんな機会をしっかりと設けることが大切と考えています。

ただ、いささか残念なことであります。最近の後輩諸君の関東進出が非常に少なくなっているようです。現役の学生諸子の奮起に期待したいと思います。

耐久高校同窓会本部、有田・和歌山・関西の各耐久会のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

和歌山耐久会会長就任のご挨拶

西 博 義 (高19期)

十一月十七日、和歌山市内で開催された、総会を兼ねた役員会において、田辺善彦会長に代わって今年から会長を務めることになりました。どうぞよろしくお願ひします。

今まで実務を担当されてきた中田實宏幹事長の突然のご逝去により、しばらく活動が停滞していましたが、これからは若者を中心にした活発な会にしたいと考えています。

和歌山市とその周辺にお住まい、またはお勤めの卒業生の積極的な参加をお願ひします。

| | |
|---------|------------------|
| プロフィール | 耐久高等学校卒業 |
| 昭和36年3月 | 大阪大学 法学部卒業 |
| 昭和40年3月 | 株式会社住友銀行 |
| 昭和40年4月 | (現 三井住友銀行) |
| 平成10年5月 | 同行 代表取締役 |
| 平成13年2月 | 専務取締役 |
| 平成27年5月 | イズミヤ株式会社 代表取締役社長 |
| | 同社 特別顧問 (現任) |

| | |
|----------|-------------|
| プロフィール | 耐久高校卒業 |
| 昭和42年3月 | 徳島大学大学院修了 |
| 昭和48年3月 | 和歌山工業高専退官 |
| 平成4年11月 | 衆議院議員初当選 |
| 平成5年7月 | 衆議院議員引退 |
| 平成24年11月 | 耐久リバースを支援する |
| 平成28年3月 | 会代表 |
| 平成28年3月 | 稲むらの火の館名誉館長 |

「稲むらの火まつり」に参加して

昨年の「火まつり」は世界津波の日高校生サミットに参加の48カ国約250名も加わ



り、会場はいろんな言葉が飛び交い盛り上がりました。有田耐久会からは12名が参加しました。初めて参加した堀川泰一(昭和45卒)さんは「たいまつはずっしりと重かった」とのこと。

薄暮の中、揺れるたくさん炎は幻想的でした。広八幡神社に着き、「稲むらの火カレー」をご馳走になりました。なぜかフラメンコの公演も。帰路、梧陵さんの偉大さを感じながら来年も参加しようと思いました。

有田耐久会会長 和泉 保廣

第19・20回有田耐久会ゴルフコンペ結果

第19回有田耐久会
ゴルフコンペ結果

日時 平成30年3月14日(水)

場所 有田東急ゴルフクラブ

参加者 40名

成績

優勝 大西 和彦

2位 畑中 邦男

3位 岩崎 文彦

ベスグレ 田尻 満男

(37.38)

第20回有田耐久会
ゴルフコンペ結果

日時 平成30年9月13日(木)

場所 有田東急ゴルフクラブ

参加者 26名

成績

優勝 東尾 庄治

2位 栗山 茂規

3位 岩崎 文彦

ベスグレ 出水 竹夫

(36.40)



株式会社 柏原運送
柏原 政夫美 (高19期)
〒643-0032 有田郡有田川町天満 60-1
TEL (0737) 52-5235
FAX (0737) 52-5630

東 猛 嗣 (高21期)
●海 南 店 / 海 南 市 日 方 1521-19 TEL 073-483-5535
FAX 073-483-5536

経営サービス協同組合
理事長 東 猛 嗣 (高21期)
〒642-0032 海 南 市 名 高 502-3
TEL 073-483-7874
FAX 073-483-1015

関西耐久会

関西耐久会総会

今年で13回目となる関西耐久会総会。平成30年度は10

月7日(日)台風の心配もありましたが、アートホテル大阪ベイタワーで開催しました。まず、恒例により校歌斉唱。指揮・萩平温子さん(10期) 歌唱指導・菊山ひろみさん(13期)です。司会は31期の宮崎裕子と柴本優子の「ダブルゆうこ」コンビです。初めに地引会長(17期)の挨拶。ご来賓代表で大西義弘同窓会会長(16期)と笹井晋吾校長、上山湯浅町長からご祝辞をいただきました。



続きまして講演会は敷添泰弘様(15期)から「Hero of Japan」私が遭遇した世界の濱口梧陵」ということでお話をさせて頂きました。敷添氏は仕事で海外の子供達の育成のために世界中を駆け回っています。シアトルに行った時は教え子から消防署に案内され、そこに濱口梧陵氏を見つけました。なぜ消防署の碑に「生神(稲むらの火)」の物語がある

のか!? それは、水の災難(津波)を火で、火の災難(火事)を水で人命を救うという共通点があったからです。アメリカの人びとが濱口梧陵氏を知ってくれてる! 海外の小学校の教科書にも出てきます。世界中で梧陵氏を知ってくれているのですね。凄く痛い痛感しました。今回は、敷添氏の講演会で又、同窓生の方にも梧陵氏の功績を、広く知ってもらえる事になりました。その後、鈴木副会長が同級生(シアトル在住)に連絡を入れ、消防署を訪問した際、日本人向けの最大のサイト(jungle city)に出るようになりました。どんどん広がり、鈴木副会長は濱口梧陵さんの話でラジオ和歌山に出演することになりました。梧陵氏の話は多すぎて語り尽くせません。

次に歌手 寺本圭佑さんのステージ。その後西田副会長の乾杯の発声となりました。食事しながら余興で永楽亭富(32期の村田豊実)さんの落語は絶賛で、お褒めいただきました。テーブルには、なれ寿司が並び懐かしい再会で盛り上がり、話が尽きません。写真撮影に入り、皆さんニコニコ顔で笑い声が止まりません。

和やかに過ごした会も、最後は去年から始めた「ふるさと」の大合唱。ギター、たて笛で手作り感満載で、54歳〜82歳総勢130名の歌声は素晴らしき大合唱。楽しかった今日の日の余韻を残しながら、鈴木副会長の挨拶で終了しました。

皆様! 来年も楽しい会の開催を予定しております。会長はじめ、役員一同努力を重ね、より一層良い会にと思っております。

幹事長 宮崎 裕子(高31)

関東耐久会

関東耐久会 観劇会

10月28日関東耐久会秋の定例行事の観劇会を開催いたしました。観劇会を前に明治の文豪森鴎外のゆかりの水月ホテル鷗外荘にて昼食をいたしました。

この会を楽しみにしていたらいている同窓夫妻、初めて娘さんと参加していただいている同窓、年次同期の同窓総勢36名の同窓生、家族の方の参加をいただきました。会場は東京上野の杜の東京文化会館です。昨年は雨でしたが今年は晴天であり、時候もよく、人、人でした。

スペイン国立バレエ団上演の幕があきました。正直この観劇開催については役員のなかには否定的な意見もありましたが、幕があきますとダイナミックな踊り、スケールの大きさ、迫力に圧倒された次第です。そしてあつというまにカーテンコールとなり、拍手、拍手の連続です。実際観てみますと感動いたしました。

宮井 義和(高25期)



総合ビルメンテナンス・特定人材派遣 (株)ウイ・キャン・コーポレーション 取締役会長 岡 伸彦(高14期) 代表取締役 岡 勇作(高19期) 大阪市旭区中宮4丁目14番9号 TEL 06-6954-0346 FAX 06-6954-0577

ペットと泊まるログハウスの宿 パートナースハウスゆあぞ 横山 享 (高14期) 湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411 URL:http://www.partnershouse.jp

丸新本家 18433004 和歌山県新宮市1466-1 http://www.marushinhonaka.com 湯浅醤油(仰) 18433004 和歌山県新宮市1464 http://www.yuasayasyouyu.co.jp

小畑産業株式会社 代表取締役 小畑 英三 (高18期) 〒640-8033 和歌山県本町3丁目18番地 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505 ei-kobata@kbts.jp

田辺法律事務所 弁護士 田辺 善彦 (高14期) 〒640-8144 和歌山県四番丁26番地の2 TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299

続 耐久梧陵文庫のお宝発見

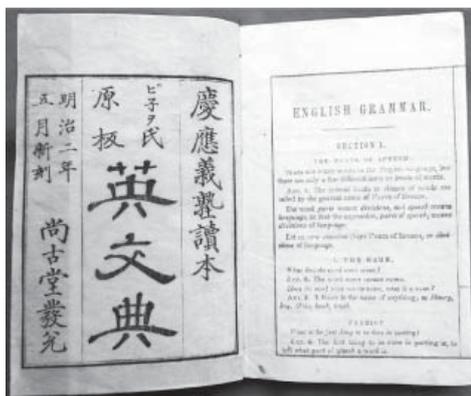
吉松敏隆 (高19期)

昨年、本会報40号で、耐久梧陵文庫の整理中に見つかった福沢諭吉著『訓蒙窮理圖解』上・中・下三巻は、理科教育のみならず、生涯学習の観点からも大変示唆に富む本であることを紹介した。

今回は、その時の整理で見つけたもう一冊のお宝について紹介したい。



藍色和紙の表紙



表紙裏に明治2年5月、尚古堂印刷・発行とある
右は本文のセクション1：品詞について

この本は、『英文典』という和綴じ本である。表紙の裏には写真のように、慶應義塾讀本ピ子^ネヲ氏原板英文典 明治二年五月新刻 尚古堂發兌^{はつだ}とある。すなわち、T.S.Pimneoの「Primary Grammar of the English Language for Beginners」を塾讀本として復刻出版したもので、『訓蒙窮理圖解』が出版された二年後のことである。

この英文典は、平易な英文対話調の文章で、テンポ良く綴られている。第一章は品詞で、名詞に始まり次は代名詞となる。名詞の代わりを意味し、チャールズの主語が2回出てくる場合は後をheにする。もし、メアリーならばshe。犬ならばit、子供達ならばthey。ジョージ相手に話す場合はyou、自分のことを言うならI、ジョージと自分をいっしょに言う場合はweといった具合である。さらに、形容詞、動詞、副詞…と続いていく。英語は全くの門外漢であるが、英文法を英語で格式張らずに初歩から学ぶことができるといえる。

ところで、諭吉翁が濱口梧陵に宛てた明治二年七月九日の書簡には、「残暑難堪。…一昨日は御来訪被下候よし

の處、適々外出中、失敬且残念奉存候。御注文、百二拾部の處、澤山御用被仰

付候に付、精々相働き、品物にて三割引、百五拾六部奉納候。尚此後も多少に不拘御用の程奉願候。」と記されている(諭吉全集第十七巻七八頁)。出版からわずか二ヶ月ほどで、早くも紀州へ届いたことになる。

もつとも、この本は耐久舎用ではなく、当時、梧陵翁が松山棟庵(紀州出身の塾生でもあった医師)とともに和歌山で洋学振興のために創設した「共立学舎」で使用するためだったようである。当初、諭吉翁をこの学校に招聘しようとした経緯もある。何はともあれ、梧陵文庫の中に何冊もあることから、一五六部の一部は耐久舎にも届いたと推察される。

梧陵翁は、どうしてこの本を三拾両も出して何冊も購入したのであるのか。諭吉翁の教育立国論、学校論に呼応し、維新後の我が国を見据え、これからは洋学のそして英語の重要なことを紀州の若者に伝えようと考えていたのである。

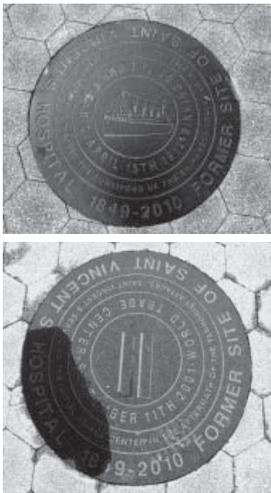
梧陵翁自身も、数々の要職を終えた一八八四年五月三〇日、横浜港から出帆、海外渡航に旅立った。米国に立ち寄り十月二〇日カリフォルニアを出発、本校の応接室に掲げられている、ステイックを持ち滝をバックにした絵の通り、途中、シカゴからナイアガラ

の滝に寄り、十月三二日にニューヨークへ到着した。

話は少しそれるが、三年前の夏の折には、セント・ヴィンセント病院をぜひ訪ねたいと思っていた。早朝の時間を利用して行こうとしていたと、メンバーの一人、栗山和也君(26期)も訪れようと考えていたとのこと。早速ホテルのフロントで場所を聞くと、五年前に閉鎖されたらしい。建物がなくとも、とにかく二人でイエローキャブを飛ばし、その番地の辺りに降り立った。通りすがりの人に病院跡はと聞くと、ここだと言って小さな公園入り口の足元に埋め込まれた丸いプレートを教えてくれた。園内は何人かできれいに清掃され、水がまかれています。



St. ヴィンセント病院跡の公園と建設中のマンション



上：タイタニック号
下：9.11テロ

ここで、地元テレビのクルーも来ている。彼らに何事かと聞いてみると、何と今日はこの公園の開園初日だと言う。遊歩道の六つのプレートには、一六〇余年の間に起きた、タイタニック号生存者の救済や、東海岸最初で最大のエイズ病棟開設、九・一一テロの最初の救護センターであったこと等、歴史的な出来事がそれぞれ刻まれていた。

梧陵翁は、ニューヨーク到着後、体調を崩されてこの病院に入院、翌年四月二一日、帰らぬ人となってしまった。公園入り口のプレートには、セント・ヴィンセント病院は一八四九年、貧しく不利益を被る人々のために創設されたと記されている。後に聞いた話では、閉鎖の要因はリーマン・ショックであったという。公園でプレートを一枚ずつカメラに納めながら、病院創立の趣旨とその後の足跡が梧陵翁と重なり、しばし明治のニューヨークに想いを募らせていた。

若者が、国内はもとより世界にも目を向け、どのように生き、どのような社会貢献ができるかを考える第一歩が、受験英語を超越した「英辞典」の読破にあるようにも思う。



高46期
高校46期(平成6年卒業)同窓会

2019年1月2日、晴天の中、鮎茶屋にて平成6年耐久高校卒業生の同窓会を開催しました。20歳の時に同窓会を開催したので、20数年ぶりの同窓会です。

約半年前よりクラス幹事9名、全体幹事4名で準備した甲斐あって、生徒130名、先生3名参加の大盛況な同窓会で、懐かしい顔が会場一杯になりました。

清水先生の乾杯の挨拶では、3年生の時の球技大会のエピソードをお話ししてくださり、当時の懐かしい記憶が鮮明に蘇ってきたと同時に、先生が覚えてくれたこと嬉しく思いました。

同級生、先生と当時を振り返って昔話で盛り上がった、仕事や家庭の話をしたり、話題は尽きることなく、皆さんの笑顔に包まれて心温まる時間を共有できました。

また、半数近くの同級生が2次会に参加してください、本当に楽しい一日でした。新年早々お忙しいところ、ご出席くださいました先生、同級生の皆さん、本当にありがとうございました。

3年2組
クラス幹事
菊屋 洋平

有限会社
衣奈不動産鑑定所
不動産鑑定士 衣奈 伸和 (高18期)
〒643-0004
湯浅町湯浅2026-5 豊園ビル
TEL 0737-65-3066
FAX 0737-62-4066

日本料理 **いさ丸**
前田利三 (高12期)
有田郡湯浅町庁舎前
TEL 0737(63) 2929

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!
有田川温泉
鮎茶屋
有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

株式会社 **中井組**
代表取締役社長 中井賢次 (高22期)
〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅2512
電話: 0737-62-4131

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)

組織強化支援活動

高67期
同窓会を終えて

平成31年1月2日、私たち67期生は橘家にて同窓会を行いました。

卒業から4年後の同窓会開催は耐久高校の恒例事業となっております。

私たち幹事団は、同窓会開催にあたり、約半年前に幹事団としての集まりを始めました。幹事団の中には遠方に暮らしている人や仕事の都合上、打ち合わせになかなか参加できない人もいましたが、計5回の打ち合わせ、また、SNSにより随時意見交換を行いながら、当日の役割分担を明確にし、準備しました。

同窓会当日は67期生131名、恩師7名、計138名が一同に集いました。同窓会開催に伴い、幹事代表挨拶を行い、そのあと恩師代表で中先生から乾杯の挨拶を頂き、いよいよ同窓会が始まりました。

賑やかな雰囲気の中、まず最初に同窓会にお迎えした担任・副担任の恩師方からメッセージを頂きました。高校時の懐かしいエピソードなどを恩師方が話す中で、徐々に当時の楽しかった思い出がよみがえり、その思い出に浸ることが出来ました。

次に行ったイベントはビンゴ大

会です。商品の購入にあたって、ネットショッピングにより目玉となる商品を購入し、そのほか商品については幹事団で集まり買い出しを行い、計20品の景品を用意しました。当日は思っていた以上の盛り上がりで、好評を得ることが出来ました。

次に男女別グランプリを行いました。4部門のグランプリを行い、当日参加者からナンバーワンを決定することとしました。

当日の各テーブルにアンケート用紙を用意し、アンケート係が記入を促しました。集計に時間がかかることを見込み、早めの回収を行いました。受賞者には500円QUOカードの贈呈と一言コメントを頂きました。受賞された方々の面白いコメントもあり、盛り上がる事が出来ました。

最後に、クラス写真、全体写真を撮り同窓会は閉会となりました。

同窓会を終え、幹事団皆が協力し、また幹事以外の皆様の協力もあり最高の同窓会にすることが出来ました。今も昔もともに笑いあい、励ましあえる人がすぐそばにいるありがたさを改めて実感することができました。この存在をずっと大切にしていきたい、そう思える同窓会になったと思います。また次回、皆が笑って会える日を楽しみにしています。

幹事代表 東 倫平



同窓会活動報告

2018(H30)年

- 9. 12 本部・有田耐久会合同役員会 (本校)
- 10. 7 関西耐久会総会 (ホテル大阪ベイタワー)
…笹井校長・大西会長・和泉会長・白井
- 16 第4回「志学ゼミ」(学校)
- 28 稲むらの火祭り
- 29 「世界津波の日」高校生サミット
- 11. 21 きのくに学びの月間・学校訪問 (授業見学)
…大西会長・榎野副会長・見矢副会長

- 12. 11 耐久リバースを支援する会
- 18 会報編集委員会 (本校)

2019(H31)年

- 1. 2 組織強化支援事業高67期同窓会 (橘家)
- 25 本部・有田耐久会役員新年会
- 29 会報編集委員会 (学校)
- 2. 9 組織強化支援事業高39期同窓会 (橘家)
- 28 卒業生クラス代表との懇談会 (学校)
- 3. 1 第71回卒業証書授与式

ブランド古着買取販売
もらったけどそのままになっている
洋酒、ご自宅にごいませんか?
高価買取致します
0120-54-8686
お問合せ受付時間 11:00~18:00
〒641-0036 和歌山市西浜875-2 定休日(土・日・祝)

橘家
Wedding Hall
TACHIBANA
橋爪正文(高39期)
ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL http://www.tatibanaya.jp
〒649-0434 有田市宮原町新町17

医療法人大和会
宮井クリニック 宮井 将博(高34期)
(一部予約制) 泌尿器科 一般外科
TEL 0737-22-3333
〒649-0433 和歌山県有田市宮原町須谷533-1
診療時間 午前9:00~12:00 午後4:00~6:30 休診日 土・日・祝

同窓の情報交換のスペースとして会報を活かしましょう。

29年度予算・決算書

耐久高等学校同窓会

平成29年4月1日～平成30年3月31日

1. 収入の部

| | 29年度予算額 | 29年度決算額 | 増 減 | 備 考 |
|-----------|-----------|-----------|---------|--------------------------------|
| 入 会 金 | 1,020,000 | 1,012,500 | -7,500 | 全日制 200名*5,000 定時制 5名*2,500 |
| 会 報 広 告 | 100,000 | 118,830 | 18,830 | 会報40・41号広告代 |
| 会 報 協 賛 金 | 150,000 | 108,870 | -41,130 | 有田耐久会他より |
| 寄 付 金 | 150,000 | 184,859 | 34,859 | 有田高女他より |
| 雑 収 入 | 30,000 | 3 | -29,997 | 預金利息他 |
| 収 入 計 | 1,450,000 | 1,425,062 | -24,938 | |
| 前 期 繰 越 金 | 929,192 | 929,192 | 0 | |
| 収 入 合 計 | 2,379,192 | 2,354,254 | -24,938 | |

2. 支出の部

| | 29年度予算額 | 29年度決算額 | 増 減 | 備 考 |
|-----------------|------------------|----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 運 営 費 | 190,000 | 153,196 | -36,804 | |
| 会 議 費 | 20,000 | 0 | -20,000 | |
| 渉 外 費 | 30,000 | 5,216 | -24,784 | タイムス広告費 |
| 負 担 金 | 40,000 | 31,000 | -9,000 | 県高等学校同窓会連絡協議会参加費他 |
| 旅 費 | 100,000 | 116,980 | 16,980 | 各支部総会出席旅費他 |
| 2. 活 動 費 | 1,690,000 | 890,362 | -799,638 | |
| 総 会 費 | 200,000 | 84,384 | -115,616 | 総会諸費用 |
| 母 校 援 助 費 | 600,000 | 179,376 | -420,624 | 全国大会出場激励費他 |
| 同 窓 会 報 費 | 600,000 | 459,449 | -140,551 | 会報40・41号印刷、郵送代他 |
| 助 成 費 | 150,000 | 144,568 | -5,432 | 各支部・期への援助 |
| 雑 費 | 140,000 | 22,585 | -117,415 | 支部総会用郵送代 |
| 3. 諸 費 | 170,000 | 132,560 | -37,440 | |
| 事 務 費 | 40,000 | 36,710 | -3,290 | 封筒、郵送代他 |
| 慶 弔 費 | 80,000 | 20,850 | -59,150 | 供花他 |
| 払 戻 金 | 50,000 | 75,000 | 25,000 | 転出生払戻 |
| 支 出 計 | 2,050,000 | 1,176,118 | -873,882 | |
| 4. 繰 出 金 | 202,000 | 201,250 | -750 | |
| 基 本 金 | 102,000 | 101,250 | -750 | きのくに信金定期へ |
| 同窓会館設立基金 | 100,000 | 100,000 | 0 | ゆう貯定期へ |
| 5. 予 備 費 | 127,192 | 0 | -127,192 | |
| 支 出 合 計 | 2,379,192 | 1,377,368 | -1,001,824 | |

2,354,254 - 1,377,368 = 976,886

次年度へ繰越

同窓会会計について

※収入…29年度は、入会金として全日制 5,000 円・定時制 2,500 円を終身会費として頂いています。(中途転校・退学の場合は返金) 他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報名簿や会報を通じて提供、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

郵便振替口座の開設について (口座番号) 00900-5-298293 (口座名称) 和歌山県立耐久高等学校同窓会 (加入者払込局) 湯浅郵便局

絆 水上競技部の巻

耐久高校水上競技部はH12年より水泳部から名称変更を経て水上競技部となり、水泳種別においては競泳と水球を行う部として活動しております。近年競泳以外の水球を中心に活動する生徒が増え、現在3年生8名、2年生5名、1年生6名となっています。

私が着任して以降の9年間で、生徒数の減少に伴う水泳人口の減少により、新入生における水泳経験者が少なく、部の存続危機を何度も経験しました。しかし、女子の競泳が総体

で2年連続団体2位(H29、H30)、男子の水球が近畿大会で4位(H28)、本校より3名選出された国体予選で3位(H25)、女子の水球が近畿大会で3位(H30)と創部以来の成績を残すことができました。また、和歌山国体では2名の選手が水球競技(少年男子)にて活躍してくれました。水球の卒業生においてもインカレにて主力選手として上位進出し、活躍してくれました。

社会が多種多様に変化する現在において、教育の場はもちろん、クラブ活動においても生徒の考え方は変化していると感じることがあります。「クラブ活動の意味は何なのか」を根幹の課題として活動していますが、時



水上競技部顧問
酒井 環

あります。そんな時に水上競技部は卒業生や地域の方々、OB OGの支援によって支えられ続けてきました。水球では部員が少なく、練習もままならないとくに多くの先輩方の「体」を借りて強化してまいりました。また、私の指導の行き届かない所を何度も埋めていただきました。この場にて、心より厚く御礼申し上げます。

今後、水上競技部は必ずクラブを進路実現のために役立つことを目的に活動していきま

アコ

平成30年の地域生活に係る湯浅町民アンケートでも、生活上の不安の問いで5年前最多

異常気象が進む怖さは、多くの人が感じている。

「災」害が日本各地や私たちが身近でも起こり日常生活を脅かした。

「美味いよ」そんな顔した十四個の母の採りたる大事なみかん

中川 啓子 (高19期)

ま

隙間風この家われと同年

前 寿二 (高13期)

着ぶくれておしやれ心の失せにけり

半辺 みつ子 (高18期)

東雲のめくる昭和史遙かなり

新元号も梧陵翁と歩まむ

楠本 弘子 (高女28期)

同窓歌壇

編集後記

立春も過ぎ、43号は「平成最後の会報」になりました。

昨年、「稲むらの火」発祥の地で開催された「世界津波の日」高校生サミットには、本校生176名がボランティアとして参加しました。英語に悪戦苦闘しながらも大活躍でした。

濱口梧陵生誕200年記念特集(その二)は、本校元校長の藪添泰弘氏に執筆してもらいました。グローバルな活動の中で何度も「世界の梧陵」を実感されています。また、吉松氏の「続お宝発見」では、梧陵翁が若者への英語教育に情熱を注いでいたことがうかがえます。梧陵翁は、この会報に何度も登場していますが、「またか」の声は聞きません。明治初期にあらゆる分野に顔を連ね重きをなす、財を私せず公に施す、まさに偉人、郷土の誇りです。

関東耐久会では格調高い観劇会、関西耐久会では趣向を凝らした楽しい総会が開催されました。なお、関東耐久会は大野博司会長が退任され林紀男氏が、和歌山耐久会は田辺善彦会長が退任され西博義氏がそれぞれ就任されました。同窓会は、高46期と高67期から報告がありました。

「絆」は水上競技部で競泳と水球で活動し好成績を上げています。勉学と両立させて頑張ってください。

編集委員会では「耐久会各支部にもっと若い世代が参加して欲しい」と思っています。総会や「催し」に若い人の参加を呼び掛けてください。

